

2019年度

第48回KMJ学習会

2019年度最初のKMJ学習会では、1943年朝鮮映画制作によって制作された『朝鮮海峡』を上映します。この映画は朝鮮半島に「徴兵令」が公布されたのを記念してつくられた国策映画で、封切り当時、13万8750人という「半島映画に前例のない興行成績」を記録しました。この映画の特徴は、当時多く作られていたプロパガンダ映画とは一線を画すものであり、国威発揚というよりは、メロドラマ的な要素が主となっており当時としては珍しいものとなっています。この映画を通じて、作り手の心境や当時の様子を探っていきたいと思います。

多くの皆さまのご参加をお待ちしています

記

日時 2019年5月17日(金)

受付 15:00 開始 15:30 終了 17:00

会場 貸教室・貸会議室 内海 1階教室

東京都千代田区三崎町3-6-15 東京学院ビル2階(JR水道橋駅西口)

内容 映画から読み解く「在日」

上映作品「朝鮮海洋」

1943年制作、監督：朴基采(パクキチュ) 製作：朝鮮映画製作株式会社
後援：朝鮮軍報道部 上映時間：75分

解説 高敬一(KMJ事務局長)

参加費 3,000円

【あらすじ】

頑固な父親(金一海)の反対で、肉親の縁を切ってまで錦淑(文芸峰)と結婚した成基(南永民)は、妻が妊娠したことも知らないまま軍に志願し戦線へ向かう。一人で生活して行かねばならない錦淑は、工場で縫製仕事をして子供を産み育てる。慰めは成基の妹の清子(金信哉)が自身の境遇を理解してくれていることだ。

しかし成基は戦線で負傷、無理な労働がたたった錦淑は病院に入院する。息子が軍隊に志願し錦淑が出産したことで、気持ちや和らいだ父母が、彼女を訪ねて来る。夫からも電話がかかってくる。武勲をたてて、と夫に願う錦淑。しかし苦勞の甲斐もなく、息をひきとる。成基は療養所で看護員の助けを借り海岸を散策する。水平線の彼方に広がる空をながめ、「美しい」とつぶやく。

*参加ご希望の場合は、裏面申込用紙にご記入いただきKMJ事務局までFAX(06-6717-2702)にてお申し込み下さい。また、終了後、懇親会を行いますのでご希望の方はお申し込み下さい。

*終了後、懇親会を行いますので、ご希望の方はお申込みをお願いします。

連絡先 一般社団法人在日コリアン・マイノリティー人権研究センター(KMJ)

〒544-0032 大阪市生野区中川西3丁目10番18号

TEL 06-6717-2701 FAX 06-6717-2702

e-mail: kmj@star.odn.ne.jp URL: http://kmjweb.com

担当 高敬一(090-9717-1159)

第48回KMJ学習会申込用紙

(2019年5月17日開催)

(FAX06-6717-2702)

○第48回 KMJ 学習会に参加します。

団体名

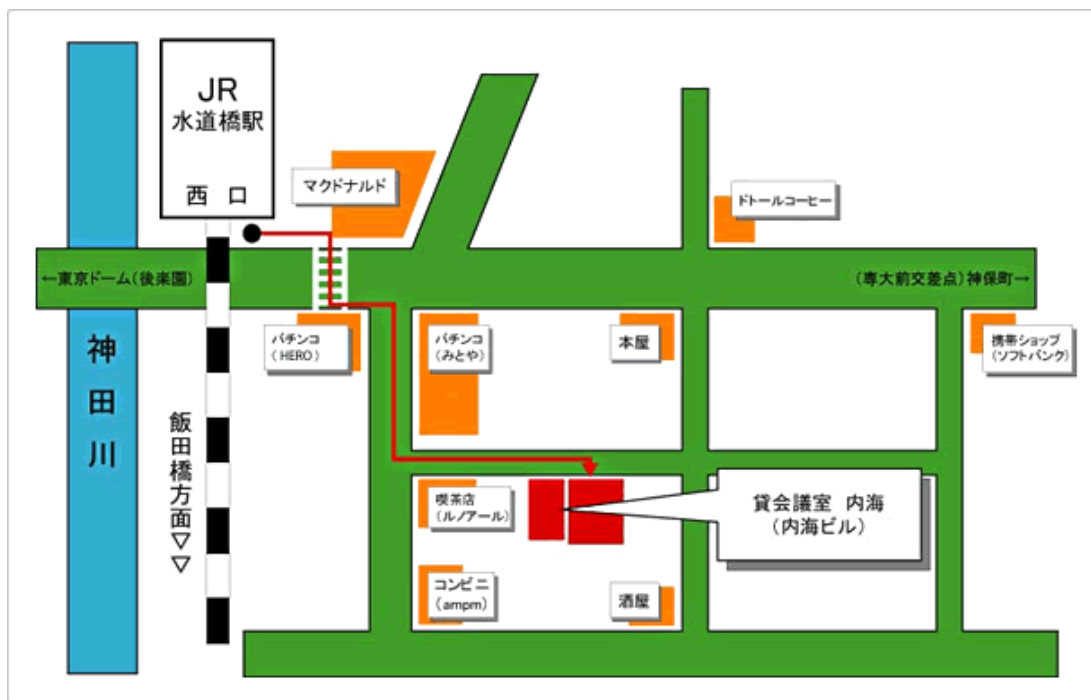
担当者名

○請求書

必要

不要

【会場地図】



○終了後の懇親会

参加 (人)